

質問	参加者からの質問内容	講師の先生からのご回答
1	<p>1. 経時的劣化について 1) 前装冠と比較して、審美性についての劣化 2) 上顎の犬歯等のガイド面の前装冠での舌側のメタルでのガイドと比較しての経時的劣化が、咬合全体に与える影響は？ 2. 支台歯の表面処理で、いろいろなもの、が混じっている場合は、1つの処理剤で、okというものが、市販されているが、先生は、どうされているのか？ 3. 仮着材、日本で、手に入るものでは、何が、オススメでしょうか？</p>	<p>1. 1) CAD/CAM冠のブロックの方がコンポジットレジンに比較して物性が安定しているため、経年劣化は少ないと考えられます。しかし長期、中期経過に関する報告が少ないのが現状です。 2) 舌側に関しては、金属の方がレジンよりは咬耗などに対する抵抗性は高いと考えられますが、まだそれを立証するデータはありません。 2. 各社からさまざまな材質への接着に適した成分を含んだ処理剤が発売されています。症例等によって使い分けをしています。 3. CAD/CAM冠の場合はレジンセメントでの装着が必須ですので、ユージノールを含まない仮着材であれば良いと考えます。</p>
2	<p>小峰先生、大変興味深い講演をありがとうございました。 CAD/CAM冠の咬合調整は、口腔内装着後に行うと説明されていましたが、大臼歯や前歯ではかえって操作が難しいのではないかと思います、いかがでしょうか。</p>	<p>ご指摘の通りです。そのため、症例によっては装着前に調整することもあると考えます。その場合には、咬合調整時に強く咬合させることは避けるべきだと考えます。</p>